

XVⅡ. 報告書確認サポートチーム

院内で画像診断の見落としが散見されている。2022 年度報告書管理体制加算が新設された。これを機に当院でも報告書確認サポートチームを設置し、画像診断部門、病理診断部門が医療安全管理部門と連携し、画像診断報告書や病理診断報告書の確認漏れ等の対策を講じ、改善を図ることを目的とし設置された。

2025 年度の活動として報告書確認サポートチームの医療講演会を web にて開催した。2 週間に 1 度、画像診断および病理診断の未読率について検討を行い、1 か月に 1 度カンファレンスを開催し評価を行っている。

2023 年 10 月より病理検査の未閲覧に関しては、病院病理部より担当科にリストを配布し、病理診断報告書の未閲覧の注意喚起を行っている。これを機に未閲覧は減少している。また、2023 年 1 月末より要望のあった未読の状況を電子カルテ上で確認できるようにシステムの改修が行われた。それ以降、画像診断報告書の未読率についても減少傾向がみられる。

未読率は画像部門も 10%前後まで低下しており、病理部門でも 10%を切っている。

これらの評価結果に関しては、医療安全審議委員会、医療安全対策委員会、病院部長会で報告書の未確認の件数を各診療部門に報告し、改善を図っている。

2026 年度新病院移転に伴う電子カルテシステムの更新に際し、報告書のレポート既読管理システムも新たに導入される予定である。新しいシステムではさらに自身でのレポート管理がしやすくなるとともに、所属のセイフティマネージャー、部長、医療安全管理部にも未読通知が送信されるようになり、さらなる未読の減少が期待される。

XVⅡ-1 2025 年度病理報告未読状況

	2025年												2026年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	最大値	最小値
未読率(%)	11.7	9.6	9.7	7.7	9.1	10.4	9.2	8.6	11.6	9	9.6	8.7	9.6	11.7	7.7
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	最大値	最小値
未閲覧率(%)	5.3	3	3.7	2	2.4	4.1	2.9	2.8	5.3	2.6	2.5	2.6	3.3	5.3	2
未閲覧レポート数	94	73	83	37	56	75	55	67	104	52	48	56	66.7	104	37

